

10 周年記念データ集を発行しました

支援活動 10 年を記念して冊子を発行しました。大谷理事長による序文を掲載させていただきます。

序

平成 10 (1998) 年 6 月、京都犯罪被害者支援センターは、任意団体として犯罪被害者支援活動を開始した。以来、10 年余の歳月が経過したが、今後の活動を展望する意味から、その歩みをデータに基づいてまとめたものが本冊子である。

今回のデータ集は、平成 10 年から 20 年までのボランティア相談員による支援活動を集約したものであるが、平成 10 年、11 年頃は、わずかではあるが面接相談なども実施されていたというものの、データの形式が整っていなかったこともあって、データとしては電話相談だけが記録されている。

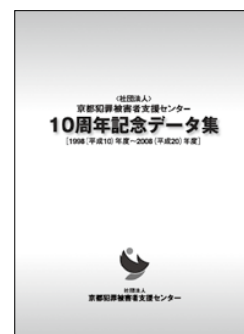
平成 12 年に本センターが社団法人となった頃から支援活動が本格化し、特に、平成 15 年に犯罪被害者等早期援助団体の指定を受けて直接的支援が実施されるようになり、そのデータが入ってくるようになった。また、平成 18 年 9 月から京都府の委託業務としてフリーダイヤル電話相談が始まり、それが府民に周知さ

れるにつれて、相談件数も次第に増加してきている。

このように、データから見ても、本センターの支援活動が活発になっていることを知ることができるのであるが、特に、近年、直接的支援の回数が激増してきていることは、特筆するに値する。本センターの支援活動が社会的に認知され、評価されるようになったことが原因であると思われ、この傾向は、今後も続くことが予想される。

平成 21 年現在の正会員は 321 名、賛助会員 1000 名（うち、法人等 80 団体）であり、ボランティア 30 名、研修中のボランティア希望者は 17 名となっている。

直接的支援活動は、被害者支援の中心となるものであるが、これが活発になるにつれて、それに要する費用は年々膨大なものとなりつつある。支援活動を充実させるためには、センターの財政基盤の確立が不可欠である。センターへの財政的支援が期待される所以である。



・・・支援活動状況・・・

(平成 21 年 9 月末)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
フリーダイヤル 0120-60-7830	22	26	28	24	17	30	145
451-7830	14	12	12	9	15	21	85
電話相談 計	36	38	40	33	32	51	230
面接相談	8	6 (1)	7	7	6 (1)	7	41 (2)
直接支援	22 (5)	29 (6)	27 (8)	16 (4)	23 (7)	31 (14)	148 (44)

() は警察からの情報提供分

今年度は、5 月から犯罪被害者週間に向けて広告媒体によるキャンペーンを続けてきた。その成果は、次第に現れてきたようである。後半期に期待している。

直接支援では、傷害事件が目立った。「何にもしていない」のに突然、殴られたり暴行を加えられたりするケースが数件あった。



平成20年度事業報告 平成20年4月1日～平成21年3月31日

電話相談	日数：239日 TEL 075-451-7830 137件 TEL 0120-60-7830 262件 合計：399件
面接相談	160件（うち63件は警察からの被害者情報提供事案）
直接的支援	315件（うち97件は警察からの被害者情報提供事案）裁判所付添、法律相談付添など
被害者情報受理	10件（通算44件）
広報啓発活動	会報紙はーとめーる発行／ミニカレンダー作成／京都市営地下鉄「地下鉄かわらばん」ポスター掲出／「犯罪被害者等を支える府民の集い共催／出前講座開催／ホームページ
研修活動	月例研修等 4月 裁判所見学・傍聴、9期生研修／5月 9期生ロールプレイ研修、「京都府男女共同参画センターについて」 浜野令子、10期生研修、「事例特別研修会」 米村幸純、9期生研修／6月 「被害者の声を聴く」 角野京子、10期生研修、9期生研修／7月 「事例特別研修会」 武るり子、事例検討会、10期生研修／8月 「記録について」 宮井久美子／9月 10期生研修、事例検討会／10月 「事例特別研修会」 米村幸純、10期生研修、事例検討会／11月 事例検討会／12月 10期生ロールプレイ研修、事前研修プログラムから選び受講／1月 京都地方検察庁にて見学・研修／3月 事例検討会、11期生研修 被害者支援者（ボランティア第11期生）事前研修 12/13「オリエンテーション」 講師：宮井久美子／刑事手続きと被害者支援に関わる法律 講師：吉田誠司 12/17「警察の被害者支援」 講師：京都府警察本部犯罪被害者対策室 12/20「被害者支援の歴史と現状」 講師：奥村正雄 12/25「女性に対する犯罪」 講師：京都府警察本部犯罪被害者対策室 1/10「被害者支援に携わる人々の問題」 講師：石附敦／「交通事故と被害者」 講師：川本哲郎 1/15「被害を受けた人の心理」 講師：浜垣誠司 1/17「被害者支援における電話相談」 講師：平田眞貴子／「被害者支援に参加して」 ボランティア 1/24「精神保健福祉法をめぐって」 講師：山下俊幸／「被害者の声を聴く」 その他の研修 7/4 全国被害者支援ネットワーク近畿ブロック研修会：大阪（1日目のみ参加） 9/28～30 全国被害者支援ネットワーク秋期全国研修会（東京） 2/13・14 全国被害者支援ネットワーク近畿ブロック研修会：奈良
調査研究活動	・被害者支援に関係する図書の購入等 ・講師派遣 家庭裁判所12回／刑務所6回／拘置所1回／浪速少年院2回／京都地方検察庁1回／七条地域犯罪被害者支援連絡協議会／綴喜犯罪被害者支援連絡協議会／南犯罪被害者支援連絡協議会／五条犯罪被害者支援連絡協議会／宮津与謝犯罪被害者支援連絡協議会／宇治・久御山犯罪被害者支援連絡協議会／北犯罪被害者支援連絡協議会／つわぶきの会／久御山町社会を明るくする運動／右京保護司会／下鴨暴力追放協議会／亀岡市PTA連絡協議会／アスニー山科／同志社大学瀬川ゼミ／石川被害者サポートセンター2回／被害者サポートセンターおかやま／全国被害者支援ネットワーク分科会、なら犯罪被害者支援センター、全国被害者支援ネットワーク上級者研修、近畿ブロック研修会
新規ボランティア募集	12/13～平成21年1/24 新規12名が事前研修を受講、うち8名が研修継続
シンポジウム等	10周年記念パネルディスカッション「被害者と歩んで」（犯罪被害者等を支える府民の集い第二部） 日時：9月21日（日）15：35～16：25 場所：京都産業会館8階シルクホール 参加：約700名 京都府民、京都府犯罪被害者支援連絡協議会会員 内容：設立から10年を経過した支援活動を振り返り、課題と今後の展望を探る。



会 議 等	通常総会 平成 20 年 5 月 31 日 平成 19 年度事業報告、収支決算報告および監査報告／平成 21 年 3 月 28 日 平成 21 年度事業計画、収支予算 臨時総会 平成 21 年 2 月 7 日 基本財産の一部処分及び補正予算 理事会 計 8 回 運営委員会 計 10 回																																																																									
全国被害者 支 援 ネ ッ ト ワ ー ク	総会、近畿ブロック研修会 7/4・5、2/13・14、 秋期全国研修会（東京）9/28～30、 事務局長会議 6/5																																																																									
京都府犯罪 被害者支援 連絡協議会	通常総会、犯罪被害者等を支える府民の集い 「生命の メッセージ展」併設 性犯罪被害者対策研究分科会、交通事故被害者対策研究 分科会 2/26																																																																									
そ の 他	ボランティアミーティング／企業暴力対策協議会・総会、 同班会／府民相談相互連絡ネットワーク会議／DV 基本 計画検討委員会／犯罪被害者等施策市町村担当者研修会 ／暴力追放運動推進センター総会、同評議員会／京都市 女性への暴力に関するネットワーク会議／京都市生活安 全施策懇話会／ボランティア認定式／WILL の会（少年 犯罪被害当事者の会）／安心・安全 まちづくり京都大会 ／法テラス京都地方協議会／ヒューマンフェスタ 2008 ／世界道路交通犠牲者の日シンポジウム／JICA 訪問／ 生命のメッセージ展（京都産業大学）／綾部犯罪被害者 を支える集い／犯罪被害者週間滋賀大会／七条警察署 協議会より訪問／京都府女性のための相談ネットワー ク会議／人権啓発指導者養成研修会／日本財団監査／愛知 大学シンポジウム「被害者参加制度」／大阪被害者支援 アドボカシーセンターシンポジウム／京都弁護士会との 意見交換会／京都府警察による立入検査／特定公益増進 法人認可	<table><tr><th>科 目</th><th>決 算</th></tr><tr><td>I 収入の部</td><td></td></tr><tr><td>1 会費収入</td><td>4,295,000</td></tr><tr><td>2 事業収入</td><td>0</td></tr><tr><td>3 補助金等収入</td><td>4,932,486</td></tr><tr><td>4 寄付金収入</td><td>1,649,215</td></tr><tr><td>5 雑収入</td><td>150,760</td></tr><tr><td>6 基本財産受取利息</td><td>1,400,000</td></tr><tr><td>7 特定預金取崩収入</td><td>10,000,000</td></tr><tr><td>当期収入合計 (A)</td><td>22,427,461</td></tr><tr><td>前期繰越収支差額</td><td>△ 1,450,285</td></tr><tr><td>収入合計 (B)</td><td>20,977,176</td></tr><tr><td>II 支出の部</td><td></td></tr><tr><td>1 事業費</td><td>9,138,351</td></tr><tr><td>給料手当</td><td>2,500,970</td></tr><tr><td>諸謝金</td><td>1,247,550</td></tr><tr><td>旅費交通費</td><td>1,010,050</td></tr><tr><td>通信運搬費</td><td>661,521</td></tr><tr><td>広報啓発費</td><td>1,071,499</td></tr><tr><td>備品費・消耗品費</td><td>681,511</td></tr><tr><td>施設使用料</td><td>298,235</td></tr><tr><td>調査研究費</td><td>1,548,415</td></tr><tr><td>保険料・負担金</td><td>118,600</td></tr><tr><td>2 管理費</td><td>5,539,623</td></tr><tr><td>給料手当</td><td>3,237,140</td></tr><tr><td>旅費交通費</td><td>304,060</td></tr><tr><td>法定福利費</td><td>492,042</td></tr><tr><td>通信運搬費・手数料</td><td>191,910</td></tr><tr><td>備品費・消耗品費</td><td>271,033</td></tr><tr><td>施設使用料・光熱水費</td><td>1,005,340</td></tr><tr><td>会議費</td><td>38,098</td></tr><tr><td>3 予備費</td><td>12,745</td></tr><tr><td>4 基本財産繰入支出</td><td>0</td></tr><tr><td>当期支出合計 (C)</td><td>14,690,719</td></tr><tr><td>当期収支差額 (A)－(C)</td><td>7,736,742</td></tr><tr><td>次期繰越収支差額 (B)－(C)</td><td>6,286,457</td></tr></table>	科 目	決 算	I 収入の部		1 会費収入	4,295,000	2 事業収入	0	3 補助金等収入	4,932,486	4 寄付金収入	1,649,215	5 雑収入	150,760	6 基本財産受取利息	1,400,000	7 特定預金取崩収入	10,000,000	当期収入合計 (A)	22,427,461	前期繰越収支差額	△ 1,450,285	収入合計 (B)	20,977,176	II 支出の部		1 事業費	9,138,351	給料手当	2,500,970	諸謝金	1,247,550	旅費交通費	1,010,050	通信運搬費	661,521	広報啓発費	1,071,499	備品費・消耗品費	681,511	施設使用料	298,235	調査研究費	1,548,415	保険料・負担金	118,600	2 管理費	5,539,623	給料手当	3,237,140	旅費交通費	304,060	法定福利費	492,042	通信運搬費・手数料	191,910	備品費・消耗品費	271,033	施設使用料・光熱水費	1,005,340	会議費	38,098	3 予備費	12,745	4 基本財産繰入支出	0	当期支出合計 (C)	14,690,719	当期収支差額 (A)－(C)	7,736,742	次期繰越収支差額 (B)－(C)	6,286,457
科 目	決 算																																																																									
I 収入の部																																																																										
1 会費収入	4,295,000																																																																									
2 事業収入	0																																																																									
3 補助金等収入	4,932,486																																																																									
4 寄付金収入	1,649,215																																																																									
5 雑収入	150,760																																																																									
6 基本財産受取利息	1,400,000																																																																									
7 特定預金取崩収入	10,000,000																																																																									
当期収入合計 (A)	22,427,461																																																																									
前期繰越収支差額	△ 1,450,285																																																																									
収入合計 (B)	20,977,176																																																																									
II 支出の部																																																																										
1 事業費	9,138,351																																																																									
給料手当	2,500,970																																																																									
諸謝金	1,247,550																																																																									
旅費交通費	1,010,050																																																																									
通信運搬費	661,521																																																																									
広報啓発費	1,071,499																																																																									
備品費・消耗品費	681,511																																																																									
施設使用料	298,235																																																																									
調査研究費	1,548,415																																																																									
保険料・負担金	118,600																																																																									
2 管理費	5,539,623																																																																									
給料手当	3,237,140																																																																									
旅費交通費	304,060																																																																									
法定福利費	492,042																																																																									
通信運搬費・手数料	191,910																																																																									
備品費・消耗品費	271,033																																																																									
施設使用料・光熱水費	1,005,340																																																																									
会議費	38,098																																																																									
3 予備費	12,745																																																																									
4 基本財産繰入支出	0																																																																									
当期支出合計 (C)	14,690,719																																																																									
当期収支差額 (A)－(C)	7,736,742																																																																									
次期繰越収支差額 (B)－(C)	6,286,457																																																																									

2009 年度全国被害者支援ネットワーク第 1 回近畿ブロック研修会を担当

7 月 11 日、12 日祇園祭り鉦たての日、幸いお天気
に恵まれ近畿 2 府 4 県より 60 名の参加を得て開催され
ました。全国被害者支援ネットワーク理事、堀河昌子
研修検討委員より開会挨拶および初お目見え増茂成史
ネットワーク事務局長のご挨拶からスタートしました。

続いて、当センター平井紀夫副理事長が全国被害者
支援ネットワーク理事として「全国被害者支援ネット
ワークの目指すべきもの」、奥村正雄副理事長による
「最新の法制度について」と、それぞれ大変短い時間
でしたが講演されました。大久保恵美子さんの「電話
相談について」の講義も平易でわかりやすい具体的な
指示をいただき好評でした。午後の「ロールプレイの
進め方」は、会場が狭く大変やりにくかったにもかか
わらず良いご指導を得ました。意見交換会は 40 名の
参加を得、京風ビュッフェで大いに盛り上がりました。

二日目、12 日は、午前中を充て「2 府 4 県支援の
実際」。現状、特徴、課題をテーマに各センターの事
務局長と支援員それぞれ 2 名 1 組での発表でした。近
くにしながら実際良くわかっていない近府県の実際の
活動について理解し合いたいというのが狙いでした。
各地それぞれの特徴や取り組み等、今後手を携え協力
して支援にかかわる機運が盛り上がりました。午後か
らは、「直接支援の実際について」、現在、京都が行っ
ている支援について被害者参加制度での支援や他機関
との連携について紹介しました。

最後は、大谷實理事長の「民間支援団体の目指すも
の」として市民が参加することの意味を問われる 30
分の講演をいただき終了しました。

第 2 回近畿ブロック研修会は、2 月 20 日（土）、21
日（日）に再び京都にて開催します。



講師派遣をしています

被害を受けるということがどのようなことか、また被害者支援の実際の活動内容等についてなど、矯正施設や他府県の支援組織などへ、支援を担当するボランティア相談員などが出向いてお話をさせていただいています。家庭裁判所での講話は今年でもう4年になります。

家庭裁判所 3/19 4/23 6/5 6/25 7/23 8/27 9/24 10/22 刑務所 4/20 7/30 10/28 少年院 7/30 拘置所 5/28 6/10 6/25 7/23 8/27 9/8 10/1 10/21 10/29 各民間支援センター（静岡 7/22 岡山 9/19 秋田 10/25、26 奈良 10/30） 京都南ロータリー 9/10 S K Y 大学 9/25 法務省保護局研修 9/29 京都地方検察庁司法修習生研修 10/14 京都産業大学 10/20 京都府警察の担当者研修 10/20 市町村窓口担当者の研修 10/27

全国被害者支援ネットワーク近畿ブロックのお仲間、なら犯罪被害者支援センターが、犯罪被害者等早期援助団体の指定を受けられました。今回、直接支援についての研修を依頼され、活動紹介に伺ったところの嬉しいニュースでした。

京都府警察本部担当者研修（10/20）、なら犯罪被害者支援センター（10/30）等の研修では、それぞれ支援員の方々に、裁判傍聴の付添い、他機関からの依頼のケース、電話相談→インテーク（初回）面接→直接支援へ等、具体的事例の内容について発表してもらいました。受講者に強い印象を持っていただけたようです。

広告を出しました ● ● ●

すでに気づいて下さる方も多いと思いますが、日本財団のご支援によって公共交通機関への当センターからのアピールが続いています。

5月6日の全線市バス内ステッカー掲出に始まり、8月地下鉄烏丸線内に透明ステッカーの掲出、同じく烏丸線最後部両および先頭車両の「困りごと相談」といった4社合同連合広告、10月末までは「沿線だより」が活躍しました。

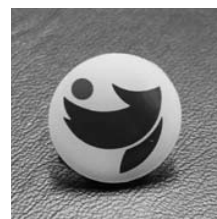
犯罪被害者週間には、巨大なB1ポスターが烏丸線全駅に張り出されます。

声なき被害者が申し出てくださるために支援センターの存在をアピールしています。



バッジを作りました ● ● ●

すでに、お手元に届いていると思いますが、日ごろ会員としてセンターを支えてくださる感謝として同じメンバーとしての気持ちを持ってイベント等にも臨んでいただくためバッジを製作しました。七宝でシンボルマークを表したもので、1.5cmの大きさです。デザインは白地が映えて好評です。募金して下さった方にもお渡しすると新聞で発表したところ、良いバッジだからと募金くださった方もありました。たくさんの方につけていただきたいと願っています。



ご寄付に感謝いたします

今年度に入って21件のご寄付をいただきました。特に6月、当センターが、バッジを製作したことの紹介にあわせ支援活動の内容と運営費に苦慮している新聞記事が掲載されると「記事を見て」と個人、会社から5件のご寄付をいただきました。

また、バザーなどのイベントの収益金からもご寄付を

いただきました。

ご寄付を持参くださって、頂いた「支援センターに寄付したことが嬉しい」というお言葉は、日頃ボランティアとして頑張って活動して下さる支援員をはじめセンター一同にとって素晴らしい励ましでした。

心から感謝申し上げます。



センターの活動を支援してくださる皆様に心より感謝申し上げます

会費及びご寄付を頂戴した方々を謹んでご報告申し上げます。センターの活動をご支援くださいまして誠にありがとうございます。尚、誤字、記載もれ等がありましたら、お手数ですが事務局までご一報いただきますようお願いいたします。また、お名前の記載を望まれない方は、お申し出ください。

平成 21 年度寄付者 <平成 21 年 4 月 1 日～ 10 月 31 日> (順不同・敬称略)
一般社団法人京都損害保険代理業協会 株式会社藤田産業 株式会社松原興産
西京犯罪被害者支援連絡協議会 ワタキューセイモア株式会社
個人 14名

平成 21 年度分会費納入者 <平成 21 年 4 月 1 日～ 10 月 31 日>
【正会員】
個人 253名

【賛助会員】
個人 891名





【賛助会員 団体】

京都府男女共同参画センター 春日住民福祉協議会 上京東部医師会 舞鶴防犯協会
京都府警友会八幡支部 舞鶴東地区更生保護女性会 井手町社会福祉協議会
宇治田原町社会福祉協議会 舞鶴西地区更生保護女性会 綴喜郡民生児童委員協議会
京田辺市民生児童委員協議会 社会福祉法人八幡市社会福祉協議会 福知山防犯協会
上京犯罪被害者支援連絡協議会 上京地域暴力対策協議会 四条繁栄会商店街振興組合
五条防犯推進委員協議会 京都府城陽警察署 京都府上京警察署
社団法人京都府指定自動車教習所協会 京都府警察本部捜査第一課
亀岡犯罪被害者支援連絡協議会 下鴨交通安全協会 下鴨防犯協会 下鴨暴力追放協議会
京丹後防犯協会 京都府京丹後警察署互助会 京都府北警察署 洛友法律事務所
綾部交通安全協会 綾部防犯協会 京都府警察本部交通機動隊



京都府警察本部情報管理課 京都府福知山警察署課長会 中京区老人クラブ連合会
 東山区シニアクラブ 東山料理飲食業組合 向日町警察犯罪被害者支援連絡協議会
 京都府上京警察署交通指導係 京都府上京警察署交通課交通事故捜査係
 京都府上京警察署地域企画係 京都府上京警察署地域第一係 京都府上京警察署地域第二係
 京都府上京警察署地域第三係 京都府上京警察署生活安全課
 京都府上京警察署刑事課知能犯係 福知山交通安全協会 株式会社京都科学
 京都府福知山警察互助会 京都市地域女性連合会 財団法人京都府交通安全協会右京支所
 株式会社山下組 京都府警察本部交通企画課親交会 右京防犯協会

【賛助会員 法人】

宝ホールディングス株式会社 株式会社島津製作所
 株式会社ジーエス・ユアサコーポレーション 月桂冠株式会社
 株式会社ワコールホールディングス 株式会社京都銀行 オムロン株式会社
 京セラ株式会社 ニチコン株式会社 東京海上日動火災保険株式会社京都支店
 京都新聞社 グループ経営管理室 総合警備保障株式会社 京都支社
 TOTO株式会社 京都支店 社団法人京都府医師会 株式会社村田製作所
 積水ハウス株式会社京都支店 ワタベウエディング株式会社リスク管理室
 丹後海陸交通株式会社 彌榮自動車株式会社 社団法人京都府トラック協会
 社団法人京都府バス協会 株式会社堀場製作所 京都中央信用金庫 株式会社マイ
 日本新薬株式会社 株式会社ビー・エス・アイ・コーポレーション 学校法人京都女子学園
 学校法人同志社 株式会社松原興産 株式会社井筒ハツ橋本舗 宗教法人壬生寺
 ワタキューセイモア株式会社

研修だより

		(敬称略)	全国被害者支援ネットワーク・近畿ブロック研修会
月例研修会			7/11・12
3/18	事例検討		全国被害者支援ネットワーク・近畿ブロック研修会を担当。近畿2府4県から68名(うちKVSC33名)、ネットワーク4名の参加があった。
4/22	直接支援の現状		全国被害者支援ネットワーク フォーラム
5/29	事例検討		10/2
6/15	裁判所見学・傍聴		秋期全国研修
8/27	電話相談について 講師:河崎佳子		10/3・4
9/16	京都地方検察庁見学・研修		
10/21	事例検討		
10/30	電話相談・カウンセリングについて 講師:伊藤良子		今回、学習院大学教授として東京でのご滞在が多く、ますますご多忙の伊藤良子先生をお迎えして、日ごろ電話相談対応についての心理面での疑問点や、カウンセリングについての知識等、素晴らしいグループ・スーパービジョンをしていただきました。
10期生ロールプレイ研修			
5/19	5/20	6/13	
11期生研修会			
3/28	4/18	5/30	6/20
8/8	9/12	10/10	

JICA 研修員が来訪

11月14日(土)晴天に恵まれおだやかな日差しの中、常磐大学長井進先生引率のもと、インド、ベトナム、スリランカ、パレスチナ、ウガンダからのJICA(独立行政法人国際協力機構)研修員7名をお迎えしました。いずれも本国では重要なポストに就いている方々です。まだまだ被害者支援にまで至らないが先ずは平和な新しい国づくりを目指し、私たちKVSCの活動に深い関心を寄せられました。



平成21年度犯罪被害者等を支える府民の集い

11月21日（土）京都産業会館シルクホールにおいて、平成21年度「犯罪被害者等を支える府民の集い」が開催されました。京都府犯罪被害者支援連絡協議会と共に京都府、京都市の後援を得て京都府警察本部と当センターが共催しました。晴天に恵まれ暖かな1日、朝からボランティアの皆さんの協力を得て会場やセンターのブースが設営され、受付のお手伝いをいただきながら700人に及ぶ府民をお迎えしました。

プログラムは、来賓の挨拶に続き、クリスマスシーズン近く、同志社大学ハンドベルクワイアによるハンドベルクワイア演奏で、あたたかで清浄な空気が会場を満たしました。続いて、昨年、高校で京都府警のタイアップで、「命の大切さ」を訴える被害者の声により「命の大切さを学ぶ教室」で学ばれた花園高校 木藤寛敬さん、同志社大学 村山俊輔さんが、遺族の声を聴いて感じたこと、気づいたこと、犯罪被害者に対する社会のあり方等についてしっかりと発言されました。

10分間の休憩を経て、湯浅恵介さんの講演があり

ました。演題は「子どもと家族と犯罪被害者」です。平成14年1月21日綾部市内で、加害者が登校中の児童に車を追突させるという事件が発生しました。湯浅さんは当時小学2年生のご長男を亡くされました。その後、追い討ちをかけるような加害者の公判中の態度等、唯々理不尽としか言いようのない出来事の中で、せつせつと父親の心情や社会に求められる犯罪被害者支援について語られました。

会場ロビーには「生命のメッセージ展」と、龍谷大学付属平安高校生徒による作品が展示されました。素晴らしいできばえの書で一行詩や文字の作品で命や絆のメッセージがありました。生命のメッセージは、不当に命を奪われた犠牲者の願いを哀切極まりないご遺族の思いで伝えられています。わずか10代前半で亡くなられた娘さんが成人式を迎えられた振袖姿のお写真がありました。

遺族の思いの中で共に年齢を重ねている亡き子どもさん達の姿は、「被害者も加害者も出さない」というメッセージを強く訴えています。

● ● ● ● ● 事務局日誌 ● ● ● ● ●

4月	第1回運営委員会	京都市女性協会評議委員会
4月1日 法律相談付添	5月 5月30日 11期生研修会	
4月2日 家裁での手続きに付添 京都府警察本部参事官・支援 室長来局	5月1日 支援について弁護士と打合せ	6月 6月2日 自宅訪問
4月6日 被害者への見舞いに付添 日本財団交流会	5月8日 面接相談 会計コンサルティング	6月3日 傍聴付添
4月8日 面接相談	5月11日 支援について保健所と打合せ	6月4日 記者クラブレクチャー
4月9日 面接相談 朝日放送取材	5月12日 傍聴付添	6月5日 京都家庭裁判所職員研修
4月10日 クリニック付添 京都拘置所より来局	5月14日 面接相談	6月6日 通常総会・ボランティアミー ティング
4月14日 カウンセリング付添 面接相談 会計コンサルティング	5月15日 クリニック付添	6月8日 代理傍聴
4月15日 第1回理事会	5月16日 H P更新	6月10日 京都拘置所にて講話
4月17日 法律相談付添 面接相談	5月18日 面接相談 会計コンサルティング	6月12日 傍聴付添
4月18日 面接相談 11期生研修会	5月19日 ロールプレイ研修	6月13日 ロールプレイ研修
4月20日 京都刑務所にて講話	5月20日 代理傍聴 ロールプレイ研修	6月15日 クリニック付添 月例研修会
4月21日 面接相談	5月21日 御池中学生訪問	6月16日 近畿ブロック事務局長会議
4月22日 月例研修会	5月22日 会計監査	6月17日 法律相談付添
4月23日 京都家庭裁判所にて講話	5月23日 面接相談	6月18日 第2回運営委員会
4月24日 クリニック付添 毎日新聞取材	5月25日 傍聴付添 京都家庭裁判所より来局	6月19日 傍聴付添 面接相談
4月27日 面接相談	5月26日 傍聴付添	6月20日 クリニック付添
	5月27日 第2回理事会	京都府犯罪被害者支援連絡 協議会総会
	5月28日 京都拘置所にて講話 府民相談相互連絡ネット ワーク会議	11期生研修会
	5月29日 被害者入院先訪問 事例検討会	代理傍聴 京都家庭裁判所にて講話 京都拘置所にて講話



6月27日	面接相談 近畿ブロック研修会ミー ティング	8月19日	弁護士との打合せ	10月2日	千葉弁護士会来局 全国被害者支援ネットワー クフォーラム
6月29日	被害者入院先訪問 会計コンサルティング	8月21日	代理傍聴 法律相談付添	10月3日	全国被害者支援ネットワー ク秋期全国研修会
6月30日	第3回理事会	8月24日	面接相談 近畿ブロック事務局長会議	10月4日	全国被害者支援ネットワー ク秋期全国研修会
7月		8月26日	代理傍聴	10月5日	家裁意見交換会
7月2日	面接相談	8月27日	傍聴付添 法律相談付添	10月6日	第6回運営委員会
7月3日	代理傍聴		月例研修	10月7日	内閣府要望聴取会
7月7日	代理傍聴 カウンセリング付添		京都家庭裁判所にて講話 京都拘置所にて講話	10月8日	会計コンサルティング
7月8日	傍聴付添	8月28日	面接相談 自宅訪問	10月9日	検察庁へ送迎
7月9日	近畿ブロック研修の打合せ	9月		10月10日	11期生研修会 少年犯罪被害者当事者の会 「WILL」
7月10日	近畿ブロック研修の打合せ	9月1日	第5回運営委員会		
7月11日	全国被害者支援ネットワー ク近畿ブロック研修会①	9月4日	代理傍聴 面接相談	10月13日	面接相談
7月12日	全国被害者支援ネットワー ク近畿ブロック研修会②	9月8日	京都拘置所にて講話 読売新聞取材	10月14日	京都地方検察庁にて講話
7月13日	支援について保健所と打合せ 第3回運営委員会	9月9日	代理傍聴 法律相談付添	10月15日	立命館大学学生来局
7月14日	傍聴付添	9月10日	南ロータリークラブ講演	10月16日	代理傍聴 傍聴付添 家裁講話者のミーティング
7月21日	第4回理事会	9月12日	面接相談 11期生研修会	10月17日	京都府ヒューマンフェスタ 2009
7月22日	静岡犯罪被害者支援セン ターにて研修講師	9月14日	傍聴付添 面接相談	10月18日	ホームページ更新
7月23日	京都家庭裁判所にて講話 京都拘置所にて講話	9月15日	面接相談 傍聴付添 面接相談	10月20日	京都府警察官向け研修講師
7月24日	警察署付添			10月21日	面接相談 面接相談 月例研修会
7月25日	面接相談 10期生認定式・交流会	9月16日	傍聴付添 月例研修会	10月22日	京都拘置所にて講話 第6回理事会 法律相談付添
7月26日	ホームページ更新	9月17日	面接相談	10月25日	京都家庭裁判所にて講話 秋田被害者支援センター研 修講師
7月27日	面接相談 面接相談	9月19日	おかやまVISCO研修講師	10月26日	カウンセリング付添
7月30日	浪速少年院にて講話 京都刑務所にて講話	9月24日	京都家庭裁判所にて講話	10月27日	傍聴付添
7月31日	面接相談 面接相談	9月25日	面接相談 クリニック付添	10月28日	京都刑務所にて講話
8月		9月29日	区役所付添 検察庁へ送迎	10月29日	代理傍聴 京都拘置所にて講話
8月3日	法律相談付添			10月30日	なら犯罪被害者支援セン ター研修講師
8月5日	被害者入院先訪問 京都市広報との打合せ 第4回運営委員会	9月30日	代理傍聴 法律相談付添・検察庁付添	10月31日	月例研修 カウンセリング付添
8月6日	法律相談付添	10月			大阪被害者支援アドボカ シーセンターシンポジウム
8月8日	11期生研修会	10月1日	傍聴付添 傍聴付添		
8月10日	10日～16日 夏期休業				
8月12日	加害者弁護士との面会に付添				
8月18日	傍聴付添 面接相談				

編集後記

◇ あっという間の1年でした。被害者参加制度が始まり、あれあれと思う間に公益社団法人申請手続開始。近畿ブロック研修担当等々…その中で、坂さんの後任として豊福さんが元気に現れ、資料整理に五十川さんが、ボランティアとして名乗りを上げてくださいました。今月に入って、12期生の研修には沢山の方が集まって下さり活発に研修が進められています。とても忙しい1年でしたが、ボランティアの皆さんも充実感を持って更に新しい年を期待しています。

お願い

住所変更された方は、お手数ですが事務局までご一報下さいませようお願い致します。

ホームページもご覧下さい

<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/kvsc7830/>

発行所 社団法人京都犯罪被害者支援センター
事務局 TEL & FAX 075-415-3008
E-mail kvsc7830@mbox.kyoto-inet.or.jp